

世代をつなぐ忘年会を開催 昔遊びやそばがきづくりで交流

12月17日、錦江町認知症カフェ「ゆうゆうカフェ」のメンバーさん11名と、児童育成支援拠点事業等を利用している子供たち5名の“交流忘年会”が開催されました。この日は、そばがきづくり、けん玉、コマ回し、お手玉のチームに分かれ、今と昔のコマで勝負したり遊び方を教えてたりと温かな忘年会となりました。



手際の良いそばがきづくりを披露した田之脇フヂヱさんは「母がいつも家で作っていたそばがきを、皆で作れて楽しかった」と話しました。

2度の延期をこえて実現 冬の田代で「あったかフェスタ」

12月26日、田代中央運動場で「あったかフェスタ」が開催されました。夏に開催を予定していたサマーフェスティバルは、天候不良のため2度の延期を余儀なくされましたが、冬の開催となった今回、夏に打ち上げられなかった花火とレーザーが寒空を鮮やかに彩りました。また、ステージではエラブチ剛さんによる歌謡ショーが披露され、来場者を大いに楽しませました。



極寒の中、来場者には無料で豚汁が振る舞われました。温かい豚汁で冷えた身体が温まり、来場者はほっとした表情を見せしていました。

清藤新一郎社長は「今後も農家さんと連携を図りながら、錦江町のみならず、大隅の活性化を目指していきたい」と語りました。



光陽オリエンツジャパンと立地協定締結 旧宿利原小体育館に工場新設

12月23日、光陽オリエンツジャパン株式会社と錦江町が鹿児島県立会いの下、立地協定を締結し、調印式が行われました。茶葉の粉末加工などを手掛けている光陽オリエンツジャパン株式会社は、旧宿利原小学校体育館に工場を移転・増設し、特産品のお茶を世界に売り出すための拠点づくりを目指します。今年4月の操業を予定しているそうです。

田代中1年の上吹越結愛さんは「日本は災害が多い国なので、このブルドーザーが様々な場所で活躍すると思う」と語りました。



未来のために今私たちができること 大阪・関西万博出展企業に学ぶ

田代中学校で12月18日、大阪関西万博に出展した企業による出前授業が行われました。講師は、大阪関西万博「未来の都市」パビリオンに『未来の水中工事』を出した青木あすなろ建設。生徒たちは水陸両用ブルドーザーのラジコン模型の操縦を体験し、自然災害から命や暮らしを守るためにできることについて考えを深めました。

地域住民の高齢化や生産者の減少により、やぐらの数は例年より少なくなりましたが、この時期の宿利原でしか見られない冬の風物詩をカメラに収めようと、多くの人が訪れました。



12月25日から3日間、宿利原地区で大根やぐらのライトアップが行われ、27日には宿利原農村公園周辺でイベントが開催されました。干し大根や農産物の販売のほか、餅つきやぜんざいのふるまい、舞台演奏などにぎわい、町内外から多くの観客が訪れました。

Kinko Town Pickup Photonews

錦江町 冬の風物詩 大根やぐらライトアップ



人権擁護委員が役場を訪問

「人権キャラバン」行政と意見交換

12月4日、錦江町・南大隅町の人権擁護委員の皆さんと、12月4日から12月10日の人権週間にあわせて、錦江町役場を訪問されました。この活動は「人権キャラバン」と呼ばれ、毎年人権週間に合わせて実施しています。人権相談や各学校での人権教室など、人権擁護委員としての活動内容を報告され、人権啓発について行政と意見交換を深めました。



本庁でも無料の特設人権相談所を隔月で開設しています。家庭内の揉め事やいじめ、差別などでお困りの方はお気軽にご相談ください。

今年度の県畜産共進会の若雌2区で4席に入賞した柏雅之さんの「かづみ32号」を撫でる生徒たち。毛の柔らかさに驚いていました。



町内の中学3年生46名が畜産業を学ぶ 牛の見分け方や安全管理など学習

町の基幹産業である畜産業について理解を深めてもらおうと、7年前から始まった「畜産業を学ぶ会」が12月12日に開催されました。牛の見分け方や安全管理についての学習、子牛への「耳標」取り付け体験が行われ、錦江中と田代中の3年生46名が参加。錦江町産の牛・豚・鶏肉のバーベキューも行われ、農家や関係者との交流が図られました。

第10回 「未来」想像・創造コンテスト 受賞者が決定



12歳以下の部

優秀賞 鶴園 真華さん

▶「川原グランドにベンチや遊具を作りたい」

13～18歳の部

優秀賞 小林 柚葵さん

▶「交換留学を実現させたい」

優秀賞 永江 実羽琉さん

▶「旧大根占町と旧田代町に、1台ずつ大きな電光掲示板を作る。街灯を増やす」

南大隅高校の部

最優秀賞 小牧 優衣さん

▶「地元高校と連携した『町づくり人材育成プロジェクト』を立ち上げる」

優秀賞 永江 亜咲美さん

▶「花瀬プールの回数券販売とプール行き巡回バスの運行」



19～39歳の部

最優秀賞 猪鹿倉 志奏さん

▶「『仕事体験型インターンプロジェクト』を実施。新しい事業アイデアを提案してもらい、優秀なアイデアは町が支援し、小規模ビジネス化する」

優秀賞 猪鹿倉 志奏さん

▶「道路にはみ出している木を土地の所有者の許可がなくても町が伐採・整備できる条例をつくる」

40～64歳の部

最優秀賞 小林 千鶴さん

▶「移動スーパーの誘致・発足」

優秀賞 船迫 小百合さん

▶「子どもから高齢者まで日常生活を快適に過ごせる錦江町『コンパクトシティー計画』の提案」

優秀賞 溝上 真智子さん

▶「建設中の医師会立病院周辺に、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅、住宅型老人ホームなどの誘致を進める。入居者を訪ねる方々の『面会を観光に変える』仕組みを整える」

65歳以上の部

※該当者なし

●問合せ先

錦江町まち・ひと・『MIRAI』創生協議会 ☎ 0994-25-1001

『あなたが町長になつたら何をしたいですか』をテーマに、第10回「未来」想像・創造コンテストの表彰式が12月22日に開催されました。寄せられた92件の想い・発想・知恵の中から、特に優秀な提案を選出し、MIRAI創生協議会城下会長から受賞者に表彰状が授与されました。また、表彰式後には協議会から町へ政策提言書の提出が行われました。提案の実現に向けて取り組んでいきます。ご応募いただいた全ての皆さん、ありがとうございました。

リトルアミューズメントホーム開催

福祉体験や餅丸めに挑戦

12月25日と26日の2日間、錦江町社会福祉協議会によるイベント「リトルアミューズメントホーム」が開催され、小中学生15名が参加しました。フードバンクの袋詰め作業などの福祉体験活動のほか、餅丸め体験、大掃除などに取り組んだ子どもたち。楽しみながら福祉や地域の活動に触れる貴重な時間を過ごしました。

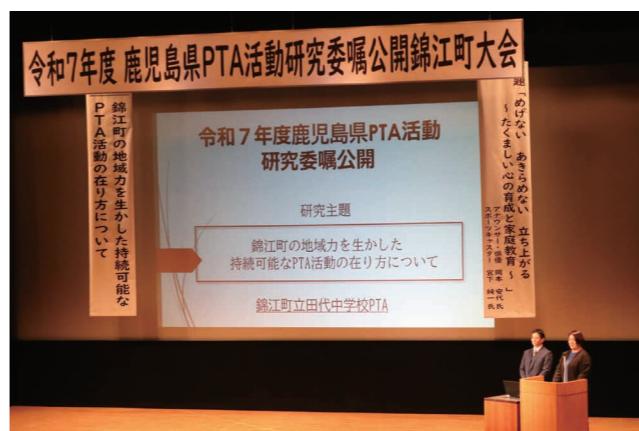


参加した田代小6年の玉泉真稀さんは「餅丸めは想像以上に熱くてびっくりした。楽しい2日間だった」と笑顔で話しました。

PTAの実践を共有

錦江町で研究委嘱公開を開催

12月6日、錦江町文化センターで「鹿児島県PTA活動研究委嘱公開錦江町大会」が開催されました。大会では、大根占小と田代中のPTAによる研究発表が行われたほか、タレントの岡本安代さんと宮下純一を迎えたトークセッションも実施されました。参加者は、PTA活動の在り方や子育てについて理解を深める有意義な時間となりました。



岡本安代さんと宮下純一さんの息ぴったりのトークに、会場は笑いに包まれ、時間があっという間に感じられました。

会長の谷口悦郎さんは「みんなで元気に活動をしている。ここを通る人にきれいな花を楽しんでいただけたら」と話しました。



花いっぱいボランティア会が花植え活動 城ヶ崎交差点付近の花壇を彩る

12月5日、花いっぱいボランティア会の皆さん、城ヶ崎交差点付近の花壇に花の苗を植えました。会員は約50名で、城ヶ崎のほか、国道269沿いの花壇でも年に2回、花植え活動を行っています。この日は寒い中、28名が参加。ビオラとツルコザクラを丁寧に植えながら、にぎやかに会話を楽しんでいました。



遊びを通してつながる時間

ミャンマー文化にふれるひととき

国際交流員のオウンマーミイッさんが橋ノロサロンを訪れ、ミャンマーの伝統的な遊び「シェル・ピット」を通じて交流を図りました。シェル・ピットはミャンマーの大人们的な間でポピュラーなゲームの一つ。ミイッさんは「日本のすごろくに少し似ているので、親しみやすいかも。みんなとゆったりとした時間を楽しめたら」と語りました。